

N-バスの運賃見直しに対する要望書

N-バスは平成10年に運行を開始し、市内交通空白地帯の解消、公共施設の利便性向上、高齢者や子ども等の交通弱者の社会参加の促進、子育て支援を運行目的にしている。有料乗車率が20%ほどで推移する中、市の財政負担が年々増加していることは課題であるが、市が令和3年4月から予定しているN-バス再編での運賃の見直しでは、現在無料となっている65歳以上の「赤あったかあど」携帯者のみを100円とする方針である。N-バスに関する条例は制定されていないため、議会での議論を経ることなく、長久手市地域公共交通会議の承認をもって決定するとのことである。運賃の見直しを進めるにあたり、以下の5点について要望する。

- 1 令和3年1月に開催が予定されている長久手市地域公共交通会議で、65歳以上の「赤あったかあど」を携帯する人の運賃を無料対象から外す方針を前提とした議論をしないこと。
- 2 65歳以上の「赤あったかあど」を携帯する人の運賃のみを無料対象から外す市の方針であるが、年齢や所得等の状況を踏まえた料金体系とするなど、方針について再度見直すこと。
- 3 現在検討が進められている高齢者の新たな移動手段の施策が構築できるまでは、N-バス運賃の見直しを先送りすること。
- 4 今回の運賃見直しにより影響の出るN-バスを利用している65歳以上の「赤あったかあど」所持者に意見を聞くこと。
- 5 議会に十分な説明をすること。

令和2年12月18日

長久手市議会